

様式1

大学等名	国立音楽大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

必修の基礎科目「AI・データサイエンス」の単位(2単位)を修得すること。

必要最低科目数・単位数

1

科目

2

単位

履修必須の有無

令和6年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
AI・データサイエンス	2	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
AI・データサイエンス	2	○	○	○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
AI・データサイエンス	2	○	○	○					

⑦ 「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
AI・データサイエンス	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
AI・データサイエンス	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、生成AI、ロボット「AI・データサイエンス」(1回目) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化「AI・データサイエンス」(2回目) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「AI・データサイエンス」(2回目)
	1-6	<ul style="list-style-type: none"> ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど)「AI・データサイエンス」(8回目) ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「AI・データサイエンス」(8回目)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「AI・データサイエンス」(3回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「AI・データサイエンス」(3回目) ・データのオープン化(オープンデータ)「AI・データサイエンス」(3回目)
	1-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「AI・データサイエンス」(4回目)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、モデル化とシミュレーション・データ同化など「AI・データサイエンス」(5回目) ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「AI・データサイエンス」(5回目) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「AI・データサイエンス」(5回目)
	1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「AI・データサイエンス」(6回目、7回目) ・教育、芸術、流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介「AI・データサイエンス」(7回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)「AI・データサイエンス」(13回目) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「AI・データサイエンス」(13回目) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「AI・データサイエンス」(13回目) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「AI・データサイエンス」(14回目) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス「AI・データサイエンス」(14回目)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「AI・データサイエンス」(15回目) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「AI・データサイエンス」(15回目) ・サイバーセキュリティ「AI・データサイエンス」(15回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での事例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類(量的変数、質的変数)「AI・データサイエンス」(9回目) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「AI・データサイエンス」(9回目) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い)「AI・データサイエンス」(9回目) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、外れ値「AI・データサイエンス」(9回目) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「AI・データサイエンス」(10回目) ・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)「AI・データサイエンス」(10回目) ・統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「AI・データサイエンス」(10回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ、箱ひげ図)「AI・データサイエンス」(11回目) ・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)「AI・データサイエンス」(11回目) ・優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など)「AI・データサイエンス」(11回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「AI・データサイエンス」(12回目) ・データの集計(和、平均)「AI・データサイエンス」(12回目) ・データの並び替え、ランキング「AI・データサイエンス」(12回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

いわゆるAIと呼ばれる分野とデータサイエンスの基礎を理解する。現代社会において必須と言えるAIとデータサイエンスの基礎を理解し、現代社会における使い方や応用例を正しく理解できるようになる。

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和6年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数

男性 309人 女性 936人 (合計 1245人)

(令和6年5月1日時点)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
音楽学部 演奏・創作学科	1,033	260	1,040	238	218											238	23%
音楽学部 音楽文化教育学科	212	60	240	43	40											43	18%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合 計	1,245	320	1,280	281	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	281	22%

大学等名 国立音楽大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 76 人 (非常勤) 309 人

② プログラムの授業を教えている教員数 1 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 三浦 雅展

(役職名) 准教授

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

教務委員会

(責任者名) 足本 憲治

(役職名) 教務委員長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

国立音楽大学二委員会規程

⑥ 体制の目的

教務委員会は、本学の学科課程に関する事項、授業運営に関する事項、教育内容・方法の改善及びその研究・研修に関する事項等の管理、運営を行う目的で設置している。

⑦ 具体的な構成員

教務委員長 作曲専修運営会 准教授 足本憲治
 教務副委員長 コンピュータ音楽専修運営会 准教授 今井慎太郎
 声楽専修運営会 教授 澤畑恵美
 鍵盤楽器専修運営会 教授 金子恵
 弦管打楽器専修運営会 准教授 高橋聖純
 ジャズ専修運営会 准教授 塩谷哲
 外国語教育運営会 准教授 松岡新一郎
 音楽情報専修運営会 准教授 三浦雅展
 音楽療法専修運営会 准教授 三宅博子
 音楽教育専修運営会 准教授 瀧川淳
 幼児音楽教育専攻運営会 准教授 伊藤仁美
 教職課程運営会 准教授 山本智子
 事務局:教務課

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	22%	令和7年度予定	42%	令和8年度予定	62%
令和9年度予定	82%	令和10年度予定	100%	収容定員(名)	1,280
具体的な計画					
<p>本プログラムを構成する科目は1年次の全学必修科目であるため、1年次履修率は実質100%である。</p> <p>令和6年度入学生より開講された科目のため、現在は収容定員に対する履修率が低くなっているが、全学必修科目のため、令和10年度には履修率が100%に達成する見込みである。</p>					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

<p>1年次の必修科目として設定しているため、学部・学科に関係なく全員が受講する体制となっている。</p>

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

<p>eラーニングサービスを利用した受講となるため、他科目と時間割が重複することがなく、学生自身のペースで学修することができる。</p> <p>履修登録については教務課側で1年次前期に自動登録しており、全員が履修の漏れなく学べるようにしている。</p> <p>受講スケジュールなどの詳細は、入学後すぐに全員が受講する初年次教育「基礎ゼミⅠ」の授業内で周知している。</p>
--

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

eラーニングサービスを利用した受講となるため、対面での授業は実施していないが、GoogleClassroomを活用し、学生の履修をサポートしている。
また、パソコン等のデバイスを所有していない場合でも、学内のパソコンルームを利用して受講することが可能となっている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

週に1回実施されるオフィスアワーや、公開されているメールアドレスより授業担当教員に連絡をとることが可能となっており、不明点等を質問することができる。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

国立音楽大学大学教育研究協議会

(責任者名) 梅本実

(役職名) 学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	全専攻・専修の基礎科目(必修科目)として「AI・データサイエンス」を開講している。担当教員及び教務課員が履修状況と単位修得状況を把握している。オンデマンド形式で開講されており、専用学習システム、本学LMS、Google Classroom等を活用している。学生向けのシステム使用法の指導については、動画コンテンツを担当教員が作成している。学習管理システム上を用いて、履修者ごとに講義内容の進捗状況、課題やレポートに対する回答状況などの学習履歴を包括的に確認でき、担当教員は学習履歴を把握・分析し、課題の提出状況や小テストの成績を基に全受講者の学修状況の管理を行っている。2024年度履修する全学生282名のうち、262名(92.9%)が合格した。
学修成果	本学が導入している専用学習システムにおいて、本教育プログラムを構成する教材内の課題は自動採点され、提出状況を確認することができる。全15回の授業を期間を定めて配信しており、各授業で小テストを設けている。小テストは自動採点されるため、学生が自身の理解度を即時に把握できるようになっている。また、配信動画についても期間中は繰り返し閲覧することが可能となっているため、より理解を深めることができる。また、単位取得状況等については、教務委員会に報告するとともに、大学教育研究協議会にて学修成果のさらなる向上に向けた施策の検討を行っている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	学生アンケートを実施し、統計的分析法のトピックモデルにより重要語を抽出した結果、「オンライン方式」「授業内容」「動画の内容」に関するトピックが抽出された。授業内容については「データやAIの重要性、コンピュータの使い方を学ぶことができた。社会に必要な技術を学ぶことができた」「動画の内容が分かりやすかった。事例が具体的でわかりやすかった」という声があった。さらに「自分の都合のいい時間、都合のいい場所でオンラインで受講できる」「動画を何度も見返すことができたので勉強しやすかった」などの声があり、十分に理解できていると考えられる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	全学生への必修科目であるため、他の学生への推奨度に関する文言は特に見当たらなかったものの、「この授業の内容、講義内容に対する満足度(最低1、最高5)」については、平均3.5(標準偏差0.95)であり、多少のばらつきはあるものの、おおむね満足している様子が見られた。このように学生による満足度も高いため、後輩の学生へ推奨できる科目として位置づけられる。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	2024年度より新1年生全員が必修科目として受講しており、また不合格となった場合は次年度に再履修するため、履修者数は100%の状態を保っている。さらに次年度以降も全入学生の必修科目としているため、今後も履修率100%を保った運営を継続する。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
<p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p>	<p>本教育プログラムは令和6(2024)年度に開講し、1学年の必修科目として履修をさせている。そのため、現時点で、本教育プログラム修了者はまだ在学中である。今後の取組みとして、キャリアを担当している学生支援課と連携しながら本教育プログラム修了者に対して、学修内容をどのように活用し、どのように社会で役立てているか等、個別にアンケート調査を実施し、その結果を今後のプログラム内容の改善に役立てる予定である。</p>
<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>教育プログラムは、すでに複数の大学で実績のあるオンラインコンテンツを利用している。このコンテンツでは、実社会の現状に応じた内容が組み込まれており、また、各回の動画コンテンツはさらに短い複数の動画から構成されており、効率よく学びができるように工夫されている。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>授業が始まる前の新入生オリエンテーション時に、「AI・データサイエンス」を学ぶ意義や目的を動画で伝え、視聴させることで意義を伝えている。また、Google Classroomを通じて定期的に学ぶ意義を伝えることで、学生の学ぶ意欲を向上させる努力をしている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>授業に用いている授業コンテンツは毎年内容の一部を見直ししながら構築されている。社会の変動やニーズを踏まえた変更を行なうことで、受講者の学びの質を向上させている。</p>

ナンバリング	FSS019N		
科目名	AI・データサイエンス		
科目詳細	全クラス共通シラバス		
担当教員	三浦 雅展		
学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	
曜日・時限		単位数	2単位
備考			

◆授業目標◆

いわゆるAIと呼ばれる分野とデータサイエンスの基礎を理解する。現代社会において必須と言えるAIとデータサイエンスの基礎を理解し、現代社会における使い方や応用例を正しく理解できるようになる。

◆授業内容・計画◆

我が国における数理・データサイエンス教育の方針に基づき、本講義ではAI・データサイエンスに関する講義を行なう。オンラインで受講する形式とする。この科目で学ぶ内容は音大生にとって馴染みの薄い言葉や概念が多いため、1つ1つの表現を正しくしっかりと理解するように心がけること。全授業の内容を動画で配信されることを効果的に利用し、理解が難しい内容は何度も見直して、理解を深めるように心がけること。

- 1.データサイエンスとは
- 2.社会で起きている変化
- 3.社会で活用されているデータ
- 4.データ・AIの活用領域
- 5.データ・AI利活用のための技術
- 6.データ活用とは
- 7.データ・AI利活用の現場
- 8.データ・AI利活用の最新動向
- 9.データを読む(1)データの代表値、ばらつき、チェック
- 10.データを読む(2)相関と因果、母集団の抽出、統計情報の理解
- 11.データを説明する
- 12.データを扱う
- 13.データ・AIを扱う上での留意事項(1)ELSI、不正行為、個人情報
- 14.データ・AIを扱う上での留意事項(2)バイアス、AIの正しい活用
- 15.データを守る上での留意事項とまとめ

◆準備学習の内容◆

次の授業までに授業計画を参考にキーワードを理解し、インターネットなどを用いた予習を行ない、理解を深める(目安2時間)。

◆成績評価の方法◆

受講生が視聴した授業内で課された課題に対する実施結果と最終レポートによって評価する。最終レポートの内容を適宜学生全体にフィードバックする。

◆教科書(使用テキスト)◆

特になし。

◆参考図書◆

授業中に適宜指示する

◆留意事項◆

- ・この授業は対面授業を行わず、すべてオンラインで実施する。
- ・課題の実施からレポートの提出までを自らのデバイス(スマホ、タブレット、パソコンなど)で実施する。
- ・ログインを行わない限り課題が実施できないため、ログインに困った場合は教務課に相談すること。
- ・課題は定期的に配信されるため、配信された後に自ら実施する必要がある。
- ・質問は原則受付ないが、質問がある場合は担当教員のオフィスアワーを利用すること。
- ・理解できない用語については、何度も動画を見直し、必要に応じてインターネットで検索し、理解を自ら深める努力をすること。

シラバス参照

タイトル「**2024年度シラバス（学部）**」、フォルダ「**2014年度以降入学生カリキュラム-共通科目-基礎科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

Excel出力

ナンバリング	FSS019N		
科目名	A I ・ データサイエンス		
科目詳細	全クラス共通シラバス		
担当教員	三浦 雅展		
対象学年	1年	クラス	0 1
講義室		開講学期	
曜日・時限		単位数	2
備考			
授業目標	いわゆるAIと呼ばれる分野とデータサイエンスの基礎を理解する。現代社会において必須と言えるAIとデータサイエンスの基礎を理解し、現代社会における使い方や応用例を正しく理解できるようになる。		
授業内容・計画	<p>我が国における数理・データサイエンス教育の方針に基づき、本講義ではAI・データサイエンスに関する講義を行なう。オンラインで受講する形式とする。この科目で学ぶ内容は音大生にとって馴染みの薄い言葉や概念が多いため、1つ1つの表現を正しくしっかりと理解するように心がけること。全授業の内容を動画で配信されることを効果的に利用し、理解が難しい内容は何度も見直して、理解を深めるように心がけること。</p> <p>1.データサイエンスとは 2.社会で起きている変化 3.社会で活用されているデータ 4.データ・AIの活用領域 5.データ・AI利活用のための技術 6.データ活用とは 7.データ・AI利活用の現場 8.データ・AI利活用の最新動向 9.データを読む（1）データの代表値、ばらつき、チェック 10.データを読む（2）相関と因果、母集団の抽出、統計情報の理解 11.データを説明する 12.データを扱う 13.データ・AIを扱う上での留意事項（1）ELSI、不正行為、個人情報 14.データ・AIを扱う上での留意事項（2）バイアス、AIの正しい活用 15.データを守る上での留意事項とまとめ</p>		
準備学習の内容	次の授業までに授業計画を参考にキーワードを理解し、インターネットなどを用いた予習を行ない、理解を深める（目安2時間）。		
成績評価の方法	受講生が視聴した授業内で課された課題に対する実施結果と最終レポートによって評価する。最終レポートの内容を適宜学生全体にフィードバックする。		
教科書（使用テキスト）	特になし。		
参考図書	授業中に適宜指示する		
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・ この授業は対面授業を行わず、すべてオンラインで実施する。・ 課題の実施からレポートの提出までを自らのデバイス（スマホ、タブレット、パソコンなど）で実施する。・ ログインを行わない限り課題が実施できないため、ログインに困った場合は教務課に相談すること。・ 課題は定期的に配信されるため、配信された後に自ら実施する必要がある。・ 質問は原則受付ないが、質問がある場合は担当教員のオフィスアワーを利用すること。・ 理解できない用語については、何度も動画を見直し、必要に応じてインターネットで検索し、理解を自ら深める努力をすること。		

戻る

1) 学科課程表

演奏・創作学科 声楽専修 (2024年度以降入学者)

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単 位 数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
必修	専門実技(声楽)Ⅰ	4								36	伴奏を含む
	専門実技(声楽)Ⅱ		4								
	専門実技(声楽)Ⅲ			4							
	専門実技(声楽)Ⅳ				4						
	専門実技(声楽)Ⅴ					4					
	専門実技(声楽)Ⅵ						4				
	専門実技(声楽)Ⅶ							4			
	専門実技(声楽)Ⅷ								8		
	イタリア語ディクシオンⅠ	2								12	
	イタリア語ディクシオンⅡ		2								
	ドイツ語ディクシオンⅠ	2									
	ドイツ語ディクシオンⅡ		2								
	フランス語ディクシオンⅠ			2							
	フランス語ディクシオンⅡ				2						
	合唱Ⅰ	1								8	
	合唱Ⅱ		1								
	合唱Ⅲ			1							
	合唱Ⅳ				1						
	合唱Ⅴ					2					
	合唱Ⅵ						2				
	器楽表現(ピアノ)Ⅰ	1								4	
	器楽表現(ピアノ)Ⅱ		1								
	器楽表現(ピアノ)Ⅲ			1							
	器楽表現(ピアノ)Ⅳ				1						
特別レッスンⅠ	2								履修を許可された者のみ履修可		
特別レッスンⅡ		2									
特別レッスンⅢ			2								
特別レッスンⅣ				2							
特別レッスンⅤ					2						
特別レッスンⅥ						2					
特別レッスンⅦ							2				
特別レッスンⅧ								2			
選択ソルフェージュCⅠ					1				16 ※1	1 セメスターに1科目のみ履修可	
選択ソルフェージュCⅡ						1					
イタリア語ディクシオンⅢ			2								
イタリア語ディクシオンⅣ				2							
ドイツ語ディクシオンⅢ			2								
ドイツ語ディクシオンⅣ				2							
英語ディクシオンⅠ			2								
英語ディクシオンⅡ				2							
合唱Ⅶ							2			履修を許可された者のみ履修可	
合唱Ⅷ								2			
歌曲演習Ⅰ					2						歌曲演習ⅠⅡを履修済みのこと。 いずれか1種類を選択
歌曲演習Ⅱ						2					
オペラ演習Ⅰ							2				
オペラ演習Ⅱ								2			
アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅰ							2				
アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅱ								2			
オペラ基礎研究A					2						
オペラ基礎研究B						2					
オペラ史A						2					
オペラ史B						2					
宗教音楽史A						2					
宗教音楽史B						2					
歌曲史A						2					
歌曲史B						2					

授 業 科 目	セ メ ス タ ー								最低 修得 単 位 数	備 考
	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
選 択 科 目	歌曲作品研究 A						2		}	歌曲演習ⅠⅡを履修済みのこと
	歌曲作品研究 B						2			
	歌曲作品研究 C						2			
	歌曲作品研究 D						2			
	ミュージカル概論	2							16 ※1	バレエ バレエ
	基礎演劇Ⅰ	1								
	基礎演劇Ⅱ		1							
	演劇Ⅰ				1					
	演劇Ⅱ					1				
	リズムヴォーカルⅠ				1					
	リズムヴォーカルⅡ						1			
	シアターダンスⅠ		1							
	シアターダンスⅡ			1						
	身体表現 A	1								
	身体表現 B	1								
	器楽表現(ピアノ)Ⅴ				1					
	器楽表現(ピアノ)Ⅵ					1				
	器楽表現(ピアノ)Ⅶ						1			
	器楽表現(ピアノ)Ⅷ							1		
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅰ		1							
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅱ			1						
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅲ				1					
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅳ					1				
	教科研究(合奏)		2							教職必修 教職必修。代わりに指揮法研究Ⅱを履修しても可 } 教職必修。 } 代わりに日本伝統音楽表現Ⅱを履修しても可
	教科研究(指揮法)		2							
	教科研究(邦楽歌唱)		1							
	教科研究(和楽器)		1							
基 礎 科 目	共通選択科目								28	
	コース科目									
	ソルフェージュⅠ	1								
	ソルフェージュⅡ		1							
	ソルフェージュⅢ			1						
	ソルフェージュⅣ				1					
	ハーモニーⅠ	1								
	ハーモニーⅡ		1							
	ハーモニーⅢ			1						
	ハーモニーⅣ				1					
	基礎ゼミⅠ	1								
	基礎ゼミⅡ				1					
	音楽概論 A	1								
	音楽概論 B		1							
	西洋音楽史概説 A	1								
	西洋音楽史概説 B		1							
	音楽文化論 A			1						
	音楽文化論 B				1					
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅰ	2								
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅱ		2							
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅲ			2						
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅳ				2					
	教育メディア論	2								
	A I・データサイエンス	2								
選 択 科 目	教養科目								20	
	卒業要件単位数								124	
	教職に関する科目								37 (35)	
選 択 科 目	学芸員に関する科目								17	

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で16単位。

演奏・創作学科 鍵盤楽器専修 (2024年度以降入学者)

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低修得単位数	備 考	
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8			
必修	専門実技(ピアノ／オルガン／電子オルガン)Ⅰ	4								36	ピアノ・オルガンのみ 電子オルガンのみ ピアノ・オルガンのみ 電子オルガンは第2セメスターで履修 ピアノ・オルガンはいずれか選択必修 電子オルガンのみ いずれか4種類を選択必修	
	専門実技(ピアノ／オルガン／電子オルガン)Ⅱ		4									
	専門実技(ピアノ／オルガン／電子オルガン)Ⅲ			4								
	専門実技(ピアノ／オルガン／電子オルガン)Ⅳ				4							
	専門実技(ピアノ／オルガン／電子オルガン)Ⅴ					4						
	専門実技(ピアノ／オルガン／電子オルガン)Ⅵ						4					
	専門実技(ピアノ／オルガン／電子オルガン)Ⅶ							4				
	専門実技(ピアノ／オルガン／電子オルガン)Ⅷ								8			
	鍵盤楽器基礎Ⅰ	2								8		
	鍵盤楽器基礎Ⅱ		2									
	鍵盤楽器基礎Ⅲ			2								
	鍵盤楽器基礎Ⅳ				2							
	電子オルガン編曲Ⅰ				2					8		
	電子オルガン編曲Ⅱ				2							
	鍵盤楽器講義(鍵盤楽器学)	2										
	鍵盤楽器講義(楽曲分析概論)	2										
	鍵盤楽器講義(作品分析概論)			2						8		
	鍵盤楽器講義(演奏解釈)		2									
	鍵盤楽器講義(ピアノ教材研究概論)			2								
	鍵盤楽器講義(楽曲分析Ⅰ)			2								
	鍵盤楽器講義(楽曲分析Ⅱ)				2					4		
	声楽表現Ⅰ	1										
	声楽表現Ⅱ		1									
	声楽表現Ⅲ			1								
	声楽表現Ⅳ				1							
選択	特別レッスンⅠ	2								20※1	履修を許可された者のみ履修可 ピアノ・オルガンのみ ピアノのみ 履修を許可された者のみ履修可 ピアノのみ	
	特別レッスンⅡ		2									
	特別レッスンⅢ			2								
	特別レッスンⅣ				2							
	特別レッスンⅤ					2						
	特別レッスンⅥ						2					
	特別レッスンⅦ							2				
	特別レッスンⅧ								2			
	ピアノ指導研究入門			2						20※1		
	鍵盤楽器作品分析Ⅰ					2						
	鍵盤楽器作品分析Ⅱ						2					
	ピアノ教材研究Ⅰ					2						
	ピアノ教材研究Ⅱ						2					
	ピアノ教育論Ⅰ					2						
	ピアノ教育論Ⅱ						2					
	ピアノ指導法					2						
	ピアノ・リテラチュアⅠ					2						
	ピアノ・リテラチュアⅡ						2					
	ピアノコンチェルト演習A					2						
	ピアノコンチェルト演習B					2						
	ピアノコンチェルト演習C							2				
	ピアノコンチェルト演習D								2			
	ピアノデュオ演習A					2						
	ピアノデュオ演習B					2						
	ピアノデュオ演習C							2				
ピアノデュオ演習D								2				
現代音楽入門Ⅰ					2							
現代音楽入門Ⅱ						2						
歴史的ピアノ基礎講座A					2							
歴史的ピアノ基礎講座B					2							
鍵盤音楽史A					2							
鍵盤音楽史B					2							

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低修得単位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
選 択	電子オルガン・アンサンブルⅠ					2				電子オルガンのみ	
	電子オルガン・アンサンブルⅡ						2				
	電子オルガン・アンサンブルⅢ							2			
	電子オルガン・アンサンブルⅣ								2		
	電子オルガン音楽理論Ⅰ					2					
	電子オルガン音楽理論Ⅱ						2				
	電子オルガン音楽理論Ⅲ							2			
	電子オルガン音楽理論Ⅳ								2		
	総譜奏法 AⅠ					1					
	総譜奏法 AⅡ						1				
	総譜奏法 AⅢ							1			
	総譜奏法 AⅣ								1		
	オルガン研究Ⅰ					2					
	オルガン研究Ⅱ						2				
	オルガン研究Ⅲ							2			
	オルガン研究Ⅳ								2		
	器楽表現(ピアノ)Ⅰ	1								20 ※1 伴奏を含む } オルガン・電子オルガンのみ 教職必修	
	器楽表現(ピアノ)Ⅱ		1								
	器楽表現(ピアノ)Ⅲ			1							
	器楽表現(ピアノ)Ⅳ				1						
	器楽表現(ピアノ)Ⅴ					1					
	器楽表現(ピアノ)Ⅵ						1				
	器楽表現(ピアノ)Ⅶ							1			
	器楽表現(ピアノ)Ⅷ								1		
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅰ			1							
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅱ				1						
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅲ					1				オルガン・電子オルガンのみ	
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅳ						1				
合唱Ⅰ			1								
合唱Ⅱ				1							
教科研究(合奏)			2								
教科研究(指揮法)			2								
教科研究(邦楽歌唱)			1								
教科研究(和楽器)			1								
共通選択科目											
コース科目											
基 礎 科 目	ソルフェージュⅠ	1								28	
	ソルフェージュⅡ		1								
	ソルフェージュⅢ			1							
	ソルフェージュⅣ				1						
	ハーモニーⅠ	1									
	ハーモニーⅡ		1								
	ハーモニーⅢ			1							
	ハーモニーⅣ				1						
	基礎ゼミⅠ	1									
	基礎ゼミⅡ					1					
	音楽概論 A	1									
	音楽概論 B		1								
	西洋音楽史概説 A	1									
	西洋音楽史概説 B		1								
	音楽文化論 A			1							
	音楽文化論 B				1						
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅰ	2									
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅱ		2								
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅲ			2							
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅳ				2						
	教育メディア論	2									
	AⅠ・データサイエンス	2									
	教養科目									20	
	卒業要件単位数									124	
	選 択	教職に関する科目									37 (35)
		学芸員に関する科目									17

演奏・創作学科 弦管打楽器専修（2024年度以降入学者）

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低修得単位数	備 考	
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8			
必修	専門実技(弦管打)Ⅰ	4								36	ハープは履修不可 弦楽器は必修 管打楽器はいずれか1種類を選択必修 教職必修 伴奏を含む 教職必修 いずれか1種類を選択必修	
	専門実技(弦管打)Ⅱ		4									
	専門実技(弦管打)Ⅲ			4								
	専門実技(弦管打)Ⅳ				4							
	専門実技(弦管打)Ⅴ					4						
	専門実技(弦管打)Ⅵ						4					
	専門実技(弦管打)Ⅶ							4				
	専門実技(弦管打)Ⅷ								8			
	基礎アンサンブルⅠ	2								16		
	基礎アンサンブルⅡ		2									
	基礎アンサンブルⅢ			2								
	基礎アンサンブルⅣ				2							
	管弦楽Ⅰ	2										
	管弦楽Ⅱ		2									
	管弦楽Ⅲ			2								
	管弦楽Ⅳ				2							
	吹奏楽Ⅰ	2								4		
	吹奏楽Ⅱ		2									
	吹奏楽Ⅲ			2								
	吹奏楽Ⅳ				2							
	声楽表現Ⅰ	1										
	声楽表現Ⅱ		1									
	声楽表現Ⅲ			1								
	声楽表現Ⅳ				1							
器楽表現(ピアノ)Ⅰ	1								20 ※1			
器楽表現(ピアノ)Ⅱ		1										
器楽表現(ピアノ)Ⅲ			1									
器楽表現(ピアノ)Ⅳ				1								
特別レッスンⅠ	2											
特別レッスンⅡ		2										
特別レッスンⅢ			2									
特別レッスンⅣ				2								
特別レッスンⅤ					2				履修を許可された者のみ履修可			
特別レッスンⅥ						2						
特別レッスンⅦ							2					
特別レッスンⅧ								2				
編曲法BⅠ	1											
編曲法BⅡ		1										
選択ソルフェージュDⅠ					1							
選択ソルフェージュDⅡ						1						
選択	上級アンサンブルA					2			20 ※1			
	上級アンサンブルB						2					
	上級アンサンブルC							2				
	上級アンサンブルD							2				
	室内楽A					2						
	室内楽B						2					
	室内楽C							2				
	室内楽D							2				
	オーケストラ・スタディⅠ					2						
	オーケストラ・スタディⅡ						2					
	オーケストラ・スタディⅢ							2				
	オーケストラ・スタディⅣ							2				
	管弦楽A					2			管弦楽Ⅳ修得者のみ履修可			
	管弦楽B						2					
	管弦楽C							2				
	管弦楽D							2				

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単 位 数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
選 択	吹奏楽 A					2				}	吹奏楽Ⅳ修得者のみ履修可
	吹奏楽 B						2				
	吹奏楽 C							2			
	吹奏楽 D								2		
	室内楽作品研究 A					2				20 ※1	
	室内楽作品研究 B					2					
	管楽器作品研究					2					
	弦楽器作品研究					2					
	管弦楽史 A					2					
	管弦楽史 B					2					
	室内楽史 A					2					
	室内楽史 B					2					
	管弦楽法 BⅠ					1					
	管弦楽法 BⅡ						1				
	指揮法研究Ⅰ					1					
	指揮法研究Ⅱ						1				
	器楽表現(ピアノ)Ⅴ					1					
	器楽表現(ピアノ)Ⅵ						1				
	器楽表現(ピアノ)Ⅶ							1			
	器楽表現(ピアノ)Ⅷ								1		
	合唱Ⅰ			1						}	教職必修
	合唱Ⅱ				1						
	教科研究(指揮法)			2							
	教科研究(邦楽歌唱)			1							
基 礎 科 目	教科研究(和楽器)			1						}	教職必修。 代わりに日本伝統音楽表現ⅠⅡを履修しても可
	共通選択科目										
	コース科目										
	ソルフェージュⅠ	1								28	
	ソルフェージュⅡ		1								
	ソルフェージュⅢ			1							
	ソルフェージュⅣ				1						
	ハーモニーⅠ	1									
	ハーモニーⅡ		1								
	ハーモニーⅢ			1							
	ハーモニーⅣ				1						
	基礎ゼミⅠ	1									
	基礎ゼミⅡ					1					
	音楽概論 A	1									
	音楽概論 B		1								
	西洋音楽史概説 A	1									
	西洋音楽史概説 B		1								
	音楽文化論 A			1							
	音楽文化論 B				1						
	外国語コミュニケーション(英語/ドイツ語/イタリア語/フランス語)Ⅰ	2									
	外国語コミュニケーション(英語/ドイツ語/イタリア語/フランス語)Ⅱ		2								
	外国語コミュニケーション(英語/ドイツ語/イタリア語/フランス語)Ⅲ			2							
	外国語コミュニケーション(英語/ドイツ語/イタリア語/フランス語)Ⅳ				2						
	教育メディア論	2									
	AⅠ・データサイエンス	2									
教養科目										20	
卒業要件単位数										124	
選 択	教職に関する科目									37 (35)	
	学芸員に関する科目									17	

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で20単位。

演奏・創作学科 ジャズ専修 (2024年度以降入学者)

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得単 位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
必修	専門実技(ジャズ)Ⅰ	2								32	グルーブレッスン
	専門実技(ジャズ)Ⅱ		2								
	専門実技(ジャズ)Ⅲ			4							
	専門実技(ジャズ)Ⅳ				4						
	専門実技(ジャズ)Ⅴ					4					
	専門実技(ジャズ)Ⅵ						4				
	専門実技(ジャズ)Ⅶ							4			
	専門実技(ジャズ)Ⅷ								8		
	クラシック基礎実技Ⅰ	2								24	グルーブレッスン(ピアノは伴奏を含む)
	クラシック基礎実技Ⅱ		2								
	即興演奏Ⅰ	1									
	即興演奏Ⅱ		1								
	即興演奏Ⅲ			1							
	即興演奏Ⅳ				1						
	ジャズ・アンサンブルⅠ	2									
	ジャズ・アンサンブルⅡ		2								
	ジャズ・アンサンブルⅢ			2							
	ジャズ・アンサンブルⅣ				2						
	専門楽器演習Ⅰ	2									ピアノ、ベース、ドラムスのみ
	専門楽器演習Ⅱ		2								
	ジャズ伴奏法Ⅰ			2							
	ジャズ伴奏法Ⅱ				2						
	ビッグバンドA	2								ギター、管楽器のみ	
	ビッグバンドB		2								
	ビッグバンドC			2							
	ビッグバンドD				2						
選択	ジャズ史Ⅰ	2								20 ※1	ピアノ、ベース、ドラムスのみ
	ジャズ史Ⅱ		2								
	リズム・トレーニングA			1							
	リズム・トレーニングB				1						
	ジャズ編曲Ⅰ				1						
	ジャズ編曲Ⅱ				1						
	ジャズ奏法研究	2									
	ビッグバンドA	2									
	ビッグバンドB		2								
	ビッグバンドC			2							
	ビッグバンドD				2						
	ジャズ・アンサンブルⅤ					2					
	ジャズ・アンサンブルⅥ						2				
	ジャズ・アンサンブルⅦ							2			
	ジャズ・アンサンブルⅧ								2		
	ビッグバンドE				2						
	ビッグバンドF					2					
	ビッグバンドG						2				
	ビッグバンドH							2			
	スタイル分析Ⅰ					2					
	スタイル分析Ⅱ						2				
択	スタイル分析Ⅲ							2			
	スタイル分析Ⅳ								2		
	ジャズ特別演習A					1					
	ジャズ特別演習B					1					
	ジャズ・ワークショップⅠ							1			
	ジャズ・ワークショップⅡ								1		

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単 位 数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
選 択	録音・舞台表現 A					1				20 ※1	} 教職必修 伴奏を含む } 教職必修, ピアノ以外 } ピアノを含む } ピアノのみ } 教職必修 教職必修。代わりに指揮法研究Ⅱを履修しても可 } 教職必修。 } 代わりに日本伝統音楽表現Ⅱを履修しても可
	録音・舞台表現 B					1					
	作編曲 A					1					
	作編曲 B					1					
	作編曲 C					1					
	作編曲 D					1					
	声楽表現Ⅰ	1									
	声楽表現Ⅱ		1								
	声楽表現Ⅲ			1							
	声楽表現Ⅳ				1						
	器楽表現(ピアノ)Ⅰ	1									
	器楽表現(ピアノ)Ⅱ		1								
	器楽表現(ピアノ)Ⅲ			1							
	器楽表現(ピアノ)Ⅳ				1						
	器楽表現(電子オルガン/弦管打)Ⅰ			1							
	器楽表現(電子オルガン/弦管打)Ⅱ				1						
	器楽表現(電子オルガン/弦管打)Ⅲ					1					
	器楽表現(電子オルガン/弦管打)Ⅳ						1				
	合唱Ⅰ			1							
	合唱Ⅱ				1						
	教科研究(指揮法)			2							
	教科研究(邦楽歌唱)			1							
	教科研究(和楽器)			1							
	共通選択科目										
	コース科目										
基 礎 科 目	ソルフェージュⅠ	1								28	
	ソルフェージュⅡ		1								
	ソルフェージュⅢ			1							
	ソルフェージュⅣ				1						
	ハーモニーⅠ	1									
	ハーモニーⅡ		1								
	ハーモニーⅢ			1							
	ハーモニーⅣ				1						
	基礎ゼミⅠ	1									
	基礎ゼミⅡ					1					
	音楽概論 A	1									
	音楽概論 B		1								
	西洋音楽史概説 A	1									
	西洋音楽史概説 B		1								
	音楽文化論 A			1							
	音楽文化論 B				1						
	外国語コミュニケーション(英語/ドイツ語/イタリア語/フランス語)Ⅰ	2									
	外国語コミュニケーション(英語/ドイツ語/イタリア語/フランス語)Ⅱ		2								
	外国語コミュニケーション(英語/ドイツ語/イタリア語/フランス語)Ⅲ			2							
	外国語コミュニケーション(英語/ドイツ語/イタリア語/フランス語)Ⅳ				2						
	教育メディア論	2									
	A I・データサイエンス	2									
教養科目										20	
卒業要件単位数										124	
選 択	教職に関する科目									37 (35)	
	学芸員に関する科目									17	

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で20単位。

演奏・創作学科 作曲専修（2024年度以降入学者）

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低修得単位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
必修	和声Ⅰ	2								16	いずれか1種類を選択必修 伴奏を含む
	和声Ⅱ		2								
	和声Ⅲ			2							
	和声Ⅳ				2						
	対位法Ⅰ	2									
	対位法Ⅱ		2								
	対位法Ⅲ			2							
	対位法Ⅳ				2						
	作曲Ⅰ	2								16	
	作曲Ⅱ		2								
	作曲Ⅲ			2							
	作曲Ⅳ				2						
	作曲Ⅴ					2					
	作曲Ⅵ						2				
	作曲Ⅶ							2			
	作曲Ⅷ								2		
	アナリーゼⅠ	1								12	
	アナリーゼⅡ		1								
	アナリーゼⅢ			1							
	アナリーゼⅣ				1						
	作曲基礎講義(楽器法)	1									
	作曲基礎講義(DTM)		1								
	管弦楽法AⅠ			1							
	管弦楽法AⅡ				1						
	吹奏楽法Ⅰ					1					
	吹奏楽法Ⅱ						1				
	実用管弦楽法Ⅰ					1					
	実用管弦楽法Ⅱ						1				
	声楽・合唱曲創作実習Ⅰ					1					
	声楽・合唱曲創作実習Ⅱ						1				
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅰ	1								4	
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅱ		1								
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅲ			1							
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅳ				1						
選択	総譜奏法AⅠ	1								32 ※1	
	総譜奏法AⅡ		1								
	総譜奏法AⅢ			1							
	総譜奏法AⅣ				1						
	厳格対位法Ⅰ	1									
	厳格対位法Ⅱ		1								
	厳格対位法Ⅲ			1							
	厳格対位法Ⅳ				1						
	編曲法AⅠ	1									
	編曲法AⅡ		1								
	編曲法AⅢ			1							
	編曲法AⅣ				1						
	コンピュータ応用講義A			2							
	コンピュータ応用講義B				2						
	コンピュータ音楽創作Ⅰ			2							
	コンピュータ音楽創作Ⅱ				2						
	コンピュータ音楽創作Ⅲ					2					
	コンピュータ音楽創作Ⅳ						2				
	録音実習			1							
	DTM演習Ⅰ			1							
	DTM演習Ⅱ				1						
	現代音楽演奏実習Ⅰ			1							
	現代音楽演奏実習Ⅱ				1						
	エクリチュールⅠ					2					
	エクリチュールⅡ						2				
	作曲特講A					2					
	作曲特講B					2					
	作曲特講C					2					
	作曲特講D					2					

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単 位 数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
選 択	ワークショップAⅠ					2				32 ※1	} 教職必修
	ワークショップAⅡ						2				
	ワークショップBⅠ					2					
	ワークショップBⅡ						2				
	吹奏楽研究Ⅰ					1					
	吹奏楽研究Ⅱ						1				
	指揮法研究Ⅰ					1					
	指揮法研究Ⅱ						1				
	指揮法研究Ⅲ							1			
	指揮法研究Ⅳ								1		
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅴ					1					
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅵ						1				
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅶ							1			
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅷ								1		
	声楽表現Ⅰ	1									
	声楽表現Ⅱ		1								
	声楽表現Ⅲ			1							
	声楽表現Ⅳ				1						
	声楽表現Ⅴ					1					
	声楽表現Ⅵ						1				
	声楽表現Ⅶ							1			
	声楽表現Ⅷ								1		
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅰ			1							} 教職必修 教職必修。代わりに指揮法研究ⅠⅡを履修しても可 } 教職必修。 } 代わりに日本伝統音楽表現ⅠⅡを履修しても可
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅱ				1						
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅲ					1					
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅳ						1				
	合唱Ⅰ			1							
	合唱Ⅱ				1						
	教科研究(合奏)			2							
	教科研究(指揮法)			2							
	教科研究(邦楽歌唱)				1						
	教科研究(和楽器)			1							
	共通選択科目										
	コース科目										
基 礎 科 目	ソルフェージュⅠ	1								24	
	ソルフェージュⅡ		1								
	ソルフェージュⅢ			1							
	ソルフェージュⅣ				1						
	基礎ゼミⅠ	1									
	基礎ゼミⅡ					1					
	音楽概論A	1									
	音楽概論B		1								
	西洋音楽史概説A	1									
	西洋音楽史概説B		1								
	音楽文化論A			1							
	音楽文化論B				1						
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅰ	2									
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅱ		2								
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅲ			2							
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅳ				2						
教 養 科 目	教育メディア論	2								20	
	AⅠ・データサイエンス	2									
卒業要件単位数										124	
選 択	教職に関する科目									37 (35)	
	学芸員に関する科目									17	

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で32単位。

演奏・創作学科 コンピュータ音楽専修（2024年度以降入学者）

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低修得単位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
必修	コンピュータ音楽創作Ⅰ	2								32	伴奏を含む 10単位選択必修 10単位を超えたものは選択科目とする コンピュータ音楽実習AとBは履修を許可された者のみ2年次から履修可
	コンピュータ音楽創作Ⅱ		2								
	コンピュータ音楽創作Ⅲ			2							
	コンピュータ音楽創作Ⅳ				2						
	コンピュータ録音演習Ⅰ	2									
	コンピュータ録音演習Ⅱ		2								
	コンピュータ録音演習Ⅲ			2							
	コンピュータ録音演習Ⅳ				2						
	マルチメディア・プログラミングⅠ	2									
	マルチメディア・プログラミングⅡ		2								
	マルチメディア・プログラミングⅢ			2							
	マルチメディア・プログラミングⅣ				2						
	コンピュータ音楽講義Ⅰ	2								12	
	コンピュータ音楽講義Ⅱ		2								
	コンピュータ音楽講義Ⅲ			2							
	コンピュータ音楽講義Ⅳ				2						
	コンピュータ音楽ゼミⅠ					2					
	コンピュータ音楽ゼミⅡ						2				
	コンピュータ音楽ゼミⅢ							2			
	コンピュータ音楽ゼミⅣ								2		
	卒業論文Ⅰ							2		4	
	卒業論文Ⅱ								2		
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅰ	1									
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅱ		1								
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅲ			1						10	
	器楽表現(創作系ピアノ)Ⅳ				1						
	コンピュータ音楽実習A					2					
	コンピュータ音楽実習B					2					
	コンピュータ音楽実習C					2					
	コンピュータ音楽実習D					2					
	コンピュータ音楽実習E					2					
	コンピュータ音楽実習F					2					
	コンピュータ音楽概論A					2					
	コンピュータ音楽概論B						2				
	アプリケーション開発実習Ⅰ					2				20 ※1	
	アプリケーション開発実習Ⅱ						2				
コンピュータ応用講義A	2										
コンピュータ応用講義B		2									
コンピュータ応用講義C			2								
コンピュータ応用講義D				2							
コンピュータ応用演習Ⅰ				2							
コンピュータ応用演習Ⅱ				2							
コンピュータ音楽概論C	2										
コンピュータ音楽概論D		2									
楽器・音響講義Ⅰ	2										
楽器・音響講義Ⅱ		2									
作曲Ⅰ			2								
作曲Ⅱ				2							
作曲Ⅲ					2						
作曲Ⅳ						2					
作曲Ⅴ							2				
作曲Ⅵ								2			
コンピュータ応用演習Ⅲ					2						
コンピュータ応用演習Ⅳ						2					

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低修得単位数	備 考			
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8					
選 択	コンピュータ音響実習 A I					2				20 ※1	} 教職必修			
	コンピュータ音響実習 A II						2							
	コンピュータ音響実習 B I					2								
	コンピュータ音響実習 B II						2							
	現代音楽演奏実習 I			1										
	現代音楽演奏実習 II				1									
	器楽表現(創作系ピアノ) V					1								
	器楽表現(創作系ピアノ) VI						1							
	器楽表現(創作系ピアノ) VII							1						
	器楽表現(創作系ピアノ) VIII								1					
	声楽表現 I	1												
	声楽表現 II		1											
	声楽表現 III			1										
	声楽表現 IV				1									
	器楽表現(電子オルガン／弦管打) I			1										
	器楽表現(電子オルガン／弦管打) II				1									
	器楽表現(電子オルガン／弦管打) III					1								
	器楽表現(電子オルガン／弦管打) IV						1							
	基 礎 科 目	合唱 I			1								26	} 教職必修
		合唱 II				1								
教科研究(合奏)					2									
教科研究(指揮法)					2									
教科研究(邦楽歌唱)					1									
教科研究(和楽器)					1									
共通選択科目														
コース科目														
ソルフェージュ I		1												
ソルフェージュ II			1											
ソルフェージュ III				1										
ソルフェージュ IV					1									
選 択	ハーモニー I	1								37 (35)	}			
	ハーモニー II		1											
	ハーモニー III			1										
	ハーモニー IV				1									
	基礎ゼミ I	1												
	基礎ゼミ II					1								
	音楽概論 A	1												
	音楽概論 B		1											
	西洋音楽史概説 A	1												
	西洋音楽史概説 B		1											
	音楽文化論 A			1										
	音楽文化論 B				1									
選 択	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語) I	2								17	}			
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語) II		2											
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語) III			2										
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語) IV				2									
	A I・データサイエンス	2												
	教養科目													
	卒業要件単位数													
	教職に関する科目													
	学芸員に関する科目													

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で20単位。

音楽文化教育学科 音楽文化教育専攻 音楽教育専修（2024年度以降入学者）

授 業 科 目		セ メ ス ター								最低修得単位数	備 考
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8		
必修	音楽教育講義A	2								8	音楽教育学概論，日本の音楽教育 器楽指導入門 世界の音楽教育と音楽教育メソッド 多様な人々と音楽教育，音楽教育研究概説
	音楽教育講義B			2							
	音楽教育講義C				2						
	音楽教育講義D				2						
	音楽教育演習(合唱)Ⅰ	1								12	リコーダー・アンサンブル 世界のパーカッション・アンサンブル
	音楽教育演習(合唱)Ⅱ		1								
	音楽教育演習(合唱)Ⅲ			1							
	音楽教育演習(合唱)Ⅳ				1						
	音楽教育演習(合奏)A	1									
	音楽教育演習(合奏)B		1								
	音楽教育演習(指揮法)Ⅰ			1							
	音楽教育演習(指揮法)Ⅱ				1						
	音楽教育演習(リトミック)Ⅰ	1									
	音楽教育演習(リトミック)Ⅱ		1								
	音楽教育演習(即興演奏法)Ⅰ			1							
	音楽教育演習(即興演奏法)Ⅱ				1						
	専門ゼミⅠ					2				12	
	専門ゼミⅡ						2				
	専門ゼミⅢ							2			
	専門ゼミⅣ								2		
	卒業研究								4	10	伴奏を含む } いずれか1種類を選択必修
	声楽表現Ⅰ	1									
	声楽表現Ⅱ		1								
	声楽表現Ⅲ			1							
	声楽表現Ⅳ				1						
	器楽表現(ピアノ)Ⅰ	1									
	器楽表現(ピアノ)Ⅱ		1								
	器楽表現(ピアノ)Ⅲ			1							
	器楽表現(ピアノ)Ⅳ				1						
	器楽表現(電子オルガン/弦管打)Ⅰ				1						
選択	器楽表現(電子オルガン/弦管打)Ⅱ					1				34※1	ルネサンス他西洋の合唱 日本人作曲家の合唱
	日本伝統音楽表現(三味線/雅楽/箏/囃子)Ⅰ				1						
	日本伝統音楽表現(三味線/雅楽/箏/囃子)Ⅱ					1					
	学科共通 Music Cultures in Japan					2					
	アーツ プロジェクトA					2					
	アーツ プロジェクトB					2					
	合唱表現A					1					
	合唱表現B					1					
	キーボード・ハーモニー入門AⅠ	1									
	キーボード・ハーモニー入門AⅡ		1								
	キーボード・ハーモニー入門BⅠ	1									
	キーボード・ハーモニー入門BⅡ		1								
	キーボード・ハーモニー応用AⅠ	1									
	キーボード・ハーモニー応用AⅡ		1								
	キーボード・ハーモニー応用BⅠ	1									
	キーボード・ハーモニー応用BⅡ		1								
	キーボード・ハーモニー応用CⅠ	1									
	キーボード・ハーモニー応用CⅡ		1								
	キーボード・ハーモニー応用DⅠ	1									
	キーボード・ハーモニー応用DⅡ		1								
	旋法和声Ⅰ			1							
	旋法和声Ⅱ				1						
	アジア音楽史A					2					
	アジア音楽史B					2					
	日本音楽史概説A					2					
	日本音楽史概説B					2					
	日本音楽(声明)A					2					
	日本音楽(声明)B					2					
	日本音楽(雅楽)A					2					
	日本音楽(雅楽)B					2					
	日本音楽(能楽)A					2					
	日本音楽(能楽)B					2					

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単 位 数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
選 択 科 目	日本音楽(近世邦楽) A					2				34 ※1	} 教職必修。代わりに日本伝統音楽表現Ⅱを 履修しても可
	日本音楽(近世邦楽) B					2					
	日本音楽(近世邦楽) C					2					
	音楽民族学 A					2					
	音楽民族学 B					2					
	音楽民族学 C					2					
	音楽民族学 D					2					
	現代音楽研究 A					2					
	現代音楽研究 B					2					
	ポピュラー音楽研究 A					2					
	ポピュラー音楽研究 B					2					
	ポピュラー音楽研究 C					2					
	ポピュラー音楽研究 D					2					
	ポピュラー音楽研究 E					2					
	ポピュラー音楽研究 F					2					
	ボディーテックⅠ	1									
	ボディーテックⅡ		1								
	ボディーテックⅢ			1							
	ボディーテックⅣ				1						
	バントマイムⅠ					1					
	バントマイムⅡ						1				
	モダンダンスⅠ					1					
	モダンダンスⅡ						1				
	ヒストリカルダンスⅠ					1					
	ヒストリカルダンスⅡ						1				
	音楽表現Ⅴ					1					
	音楽表現Ⅵ						1				
	音楽表現Ⅶ							1			
	音楽表現Ⅷ								1		
	器楽表現(ピアノ)Ⅴ					1					
	器楽表現(ピアノ)Ⅵ						1				
	器楽表現(ピアノ)Ⅶ							1			
	器楽表現(ピアノ)Ⅷ								1		
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅲ					1					
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅳ						1				
	教科研究(邦楽歌唱)			1							
	教科研究(和楽器)			1							
	共通選択科目										
	コース科目										
基 礎 科 目	ソルフェージュⅠ	1								28	
	ソルフェージュⅡ		1								
	ソルフェージュⅢ			1							
	ソルフェージュⅣ				1						
	ハーモニーⅠ	1									
	ハーモニーⅡ		1								
	ハーモニーⅢ			1							
	ハーモニーⅣ				1						
	基礎ゼミⅠ	1									
	基礎ゼミⅡ					1					
	音楽概論 A	1									
	音楽概論 B		1								
	西洋音楽史概説 A	1									
	西洋音楽史概説 B		1								
	音楽文化論 A			1							
	音楽文化論 B				1						
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅰ	2									
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅱ		2								
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅲ			2							
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅳ				2						
	教育メディア論	2									
	A I ・ データサイエンス	2									
教養科目										20	
卒業要件単位数										124	
選 択 科 目	教職に関する科目									37 (35)	
	学芸員に関する科目									17	

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で34単位。

音楽文化教育学科 音楽文化教育専攻 音楽療法専修（2024年度以降入学者）

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
必修	音楽療法講義Ⅰ	2								8	音楽療法演習 伴奏を含む 教職必修 音楽療法士コース必修
	音楽療法講義Ⅱ		2								
	音楽療法講義Ⅲ			2							
	音楽療法講義Ⅳ				2						
	音楽療法研究Ⅰ			2						8	
	音楽療法研究Ⅱ				2						
	音楽療法研究Ⅲ					2					
	音楽療法研究Ⅳ						2				
	障害児教育A					2				12	
	障害児教育B						2				
	臨床心理学A					2					
	臨床心理学B						2				
	臨床医学論A			2						12	
	臨床医学論B				2						
	専門ゼミⅠ					2					
	専門ゼミⅡ						2				
	専門ゼミⅢ							2		12	
	専門ゼミⅣ								2		
	卒業研究								4		
	演奏実習(声楽)Ⅰ	1								4	
	演奏実習(声楽)Ⅱ		1								
	演奏実習(ピアノ)Ⅰ	1									
	演奏実習(ピアノ)Ⅱ		1								
	器楽合奏Ⅰ					1				6	
	器楽合奏Ⅱ						1				
	器楽合奏Ⅲ							1			
	器楽合奏Ⅳ								1		
	歌唱実習Ⅰ					1					
	歌唱実習Ⅱ						1				
選択	学科共通					2				26 ※1	教職必修 電子オルガン以外の楽器で履修 教職必修 コース進級の場合、いずれか2単位を選択必修 代わりに教科研究(邦楽歌唱・和楽器)を履修 しても可。
	Music Cultures in Japan						2				
	アーツ プロジェクトA						2				
	アーツ プロジェクトB						2				
	指揮法研究Ⅰ					1					
	指揮法研究Ⅱ						1				
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅰ			1							
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅱ				1						
	合唱Ⅰ			1							
	合唱Ⅱ				1						
	リトミックⅠ			1							
	リトミックⅡ				1						
	日本音楽史概説A					2					
	日本音楽史概説B						2				
	日本伝統音楽表現(三味線／雅楽／箏／囃子)Ⅰ	1									
	日本伝統音楽表現(三味線／雅楽／箏／囃子)Ⅱ		1								
	演奏実習(声楽)Ⅲ			1							
	演奏実習(声楽)Ⅳ				1						
	演奏実習(声楽)Ⅴ					1					
	演奏実習(声楽)Ⅵ						1				
演奏実習(声楽)Ⅶ							1				
演奏実習(声楽)Ⅷ								1			

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単 位 数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
選 択	演奏実習(ピアノ)Ⅲ			1						26 ※1	音楽療法士コース必修 教職必修。代わりに指揮法研究Ⅱを履修しても可 } 教職必修。 } 代わりに日本伝統音楽表現Ⅱを履修しても可
	演奏実習(ピアノ)Ⅳ				1						
	演奏実習(ピアノ)Ⅴ					1					
	演奏実習(ピアノ)Ⅵ						1				
	演奏実習(ピアノ)Ⅶ							1			
	演奏実習(ピアノ)Ⅷ								1		
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅲ					1					
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅳ						1				
	教科研究(合奏)			2							
	教科研究(指揮法)			2							
	教科研究(邦楽歌唱)			1							
	教科研究(和楽器)			1							
	共通選択科目										
	コース科目										
基 礎 科 目	音楽療法士試験受験資格を得るための科目										音楽療法士コース進級の場合、表外の(1)～(11)の 各科目群より2単位ずつ、3科目群以上を履修
	ソルフェージュⅠ	1								28	
	ソルフェージュⅡ		1								
	ソルフェージュⅢ			1							
	ソルフェージュⅣ				1						
	ハーモニーⅠ	1									
	ハーモニーⅡ		1								
	ハーモニーⅢ			1							
	ハーモニーⅣ				1						
	基礎ゼミⅠ	1									
	基礎ゼミⅡ					1					
	音楽概論A	1									
	音楽概論B		1								
	西洋音楽史概説A	1									
選 択	西洋音楽史概説B		1							20 ※2	
	音楽文化論A			1							
	音楽文化論B				1						
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅰ	2									
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅱ		2								
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅲ			2							
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅳ				2						
	教育メディア論	2									
	A I・データサイエンス	2									
	教養科目										
	卒業要件単位数									124	
	教職に関する科目									37 (35)	
	学芸員に関する科目									17	

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で26単位。

※2 子どもの発達と心理、青年の発達と心理、社会福祉概論、医学一般、病気と健康を推奨

◆日本音楽療法学会認定音楽療法士試験の受験資格を得るための科目

(1)音楽美学 (2)編曲法 (3)キーボード・ハーモニー (4)自由対位法、厳格対位法、対位法 (5)楽曲分析、アナリゼ (6)演奏論、鍵盤楽器講義(演奏解釈) (7)音楽教育講義A (8)コンピュータ音楽概論、コンピュータ応用講義、コンピュータ音楽創作 (9)オペラ史、歌曲史、宗教音楽史、鍵盤音楽史、室内楽史、管弦楽史 (10)作品研究 (11)音楽民族学

音楽療法士コースは上記に加えて音楽療法臨床研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ(計16単位)を必修

音楽文化教育学科 音楽文化教育専攻 音楽情報専修 (2024年度以降入学者)

授 業 科 目		セ メ ス ター								最低修得単位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
必修	音楽情報を読み解くⅠ	2								16	総合ゼミ
	音楽情報を読み解くⅡ		2								
	音楽情報を読み解くⅢ			2							
	音楽情報を読み解くⅣ				2						
	音楽情報を発信するⅠ			2							
	音楽情報を発信するⅡ				2						
	音楽情報を発信するⅢ					2					
	音楽情報を発信するⅣ						2				
	音楽情報研究法Ⅰ	1								8	
	音楽情報研究法Ⅱ		1								
	音楽情報研究法Ⅲ			1							
	音楽情報研究法Ⅳ				1						
	音楽情報研究法Ⅴ					1					
	音楽情報研究法Ⅵ						1				
	音楽情報研究法Ⅶ							1			
	音楽情報研究法Ⅷ								1		
	専門ゼミⅠ					2				12	
	専門ゼミⅡ						2				
	専門ゼミⅢ							2			
	専門ゼミⅣ								2		
	卒業研究								4	6	
	音楽情報を集めるⅠ	2									
	音楽情報を集めるⅡ		2								
	音楽学入門			2							
声楽表現Ⅰ	1								4	教職必修 伴奏を含む } 教職必修 いずれか1種類を選択必修	
声楽表現Ⅱ		1									
声楽表現Ⅲ			1								
声楽表現Ⅳ				1							
器楽表現(ピアノ)Ⅰ	1										
器楽表現(ピアノ)Ⅱ		1									
器楽表現(ピアノ)Ⅲ			1								
器楽表現(ピアノ)Ⅳ				1							
日本伝統音楽表現(三味線／雅楽／箏／囃子)Ⅰ	1										
日本伝統音楽表現(三味線／雅楽／箏／囃子)Ⅱ		1									
日本伝統音楽表現(三味線／雅楽／箏／囃子)Ⅲ			1								
日本伝統音楽表現(三味線／雅楽／箏／囃子)Ⅳ				1							
西洋古楽表現(リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ)Ⅰ	1										
西洋古楽表現(リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ)Ⅱ		1									
西洋古楽表現(リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ)Ⅲ			1								
西洋古楽表現(リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ)Ⅳ				1							
選択	Music Cultures in Japan					2				30 ※1	
	アーツ プロジェクトA					2					
	アーツ プロジェクトB					2					
	音楽情報の編集・加工A					2					
	音楽情報の編集・加工B						2				
	原書講読(ドイツ語／フランス語／イタリア語／日本語／英語)Ⅰ					2					
	原書講読(ドイツ語／フランス語／イタリア語／日本語／英語)Ⅱ						2				
	音楽情報研究講義(西洋の音楽)					2					
	音楽情報研究講義(日本の音楽)					2					
	音楽情報研究講義(世界の音楽)					2					
	音楽情報研究講義(ポピュラー音楽)					2					
	音楽情報研究講義(楽器・音響)A					2					
	音楽情報研究講義(楽器・音響)B					2					
	文化政策論Ⅰ					2					
	文化政策論Ⅱ						2				
	インターンシップ					2					
マネージメント実習Ⅰ						2					
マネージメント実習Ⅱ							2				
マネージメント実習Ⅲ								2			
マネージメント実習Ⅳ								2			

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
選 択	アーツ・マネジメント概論Ⅰ					2				30 ※1	
	アーツ・マネジメント概論Ⅱ						2				
	音楽美学A	2									
	音楽美学B	2									
	音楽美学C	2									
	音楽美学D	2									
	日本音楽史概説A					2					
	日本音楽史概説B					2					
	アジア音楽史A					2					
	アジア音楽史B					2					
	音楽民族学A					2					
	音楽民族学B					2					
	音楽民族学C					2					
	音楽民族学D					2					
	ポピュラー音楽研究A					2					
	ポピュラー音楽研究B					2					
	ポピュラー音楽研究C					2					
	ポピュラー音楽研究D					2					
	ポピュラー音楽研究E					2					
	ポピュラー音楽研究F					2					
	器楽表現(ピアノ)Ⅴ					1					
	器楽表現(ピアノ)Ⅵ						1				
	器楽表現(ピアノ)Ⅶ							1			
	器楽表現(ピアノ)Ⅷ								1		
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅰ			1							
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅱ				1						
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅲ					1					
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅳ						1				
	合唱Ⅰ			1							
	合唱Ⅱ				1						
	教科研究(合奏)			2							
	教科研究(指揮法)			2							
	教科研究(邦楽歌唱)			1							
	教科研究(和楽器)			1							
	共通選択科目										
	コース科目										
基 礎 科 目	ソルフェージュⅠ	1								28	
	ソルフェージュⅡ		1								
	ソルフェージュⅢ			1							
	ソルフェージュⅣ				1						
	ハーモニーⅠ	1									
	ハーモニーⅡ		1								
	ハーモニーⅢ			1							
	ハーモニーⅣ				1						
	基礎ゼミⅠ	1									
	基礎ゼミⅡ					1					
	音楽概論A	1									
	音楽概論B		1								
	西洋音楽史概説A	1									
	西洋音楽史概説B		1								
	音楽文化論A			1							
	音楽文化論B				1						
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅰ	2									
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅱ		2								
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅲ			2							
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅳ				2						
	教育メディア論	2									
	A1・データサイエンス	2									
教養科目										20	
卒業要件単位数										124	
選 択	教職に関する科目									37 (35)	
	学芸員に関する科目									17	

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で30単位。

音楽文化教育学科 幼児音楽教育専攻（2024年度以降入学者）

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単位数	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8		
必修	幼児教育講義(保育原理)	2								46	幼児と美術 幼児と演劇
	幼児教育講義(幼稚園の運営)			2							
	幼児教育講義(教職概論)			2							
	幼児教育講義(発達心理)			2							
	特別支援教育とその方法			2							
	幼児教育課程論				2						
	幼児と健康			1							
	幼児と人間関係			1							
	幼児と環境			1							
	幼児と言葉			1							
	幼児と表現 A			1							
	幼児と表現 B			1							
	保育内容「健康」の指導法			2							
	保育内容「人間関係」の指導法			2							
	保育内容「環境」の指導法			2							
	保育内容「言葉」の指導法			2							
	保育内容「表現」の指導法			2							
	幼児教育方法論				2						
	幼児音楽教育講義 A	2									
	幼児音楽教育講義 B	2									
	音楽教育演習(合唱) I	1									
	音楽教育演習(合唱) II		1								
	音楽教育演習(合奏・打楽器) I			1							
	音楽教育演習(合奏・打楽器) II				1						
	音楽教育演習(リトミック) I	1									
	音楽教育演習(リトミック) II		1								
	音楽教育演習(即興演奏法) I			1							
	音楽教育演習(即興演奏法) II				1						
	表現教育 A			1							
	表現教育 B			1							
	表現教育 C				1						
	表現教育 D				1						
専門ゼミ I						2					
専門ゼミ II							2				
4											
8	声楽表現 I	1									
	声楽表現 II		1								
	声楽表現 III			1							
	声楽表現 IV				1						
	器楽表現(ピアノ) I	1									
	器楽表現(ピアノ) II		1								
	器楽表現(ピアノ) III			1							
	器楽表現(ピアノ) IV				1						
選択 教職必修	幼児理解と教育相談						2		18 ※1		
	教育実習 I						2				
	教育実習 II							4			
	教職実践演習(幼稚園)							2			
	幼児教育の体験活動 A				2						
	幼児教育の体験活動 B						2				

授 業 科 目		セ メ ス タ ー								最低 修得 単位数	備 考
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8		
学 科 共 通	Music Cultures in Japan					2				18 ※1	
	アーツ プロジェクト A					2					
	アーツ プロジェクト B					2					
選 択 科 目	美術 A			1							
	美術 B			1							
	美術 C					1					
	美術 D					1					
	幼児教育研究					2					
	児童文学 A					2					
	児童文学 B					2					
	教育原理	2									
	教育心理			2							
	音楽教育演習(合唱)Ⅲ			1							
	音楽教育演習(合唱)Ⅳ				1						
	声楽表現Ⅴ					1					
	声楽表現Ⅵ						1				
	声楽表現Ⅶ							1			
	声楽表現Ⅷ								1		
	器楽表現(ピアノ)Ⅴ					1					
	器楽表現(ピアノ)Ⅵ						1				
	器楽表現(ピアノ)Ⅶ							1			
	器楽表現(ピアノ)Ⅷ								1		
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅰ			1							
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅱ				1						
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅲ					1					
	器楽表現(電子オルガン／弦管打)Ⅳ						1				
	日本伝統音楽表現(三味線／雅楽／箏／囃子)Ⅰ			1							
	日本伝統音楽表現(三味線／雅楽／箏／囃子)Ⅱ				1						
	共通選択科目										
	コース科目										
基 礎 科 目	ソルフェージュⅠ	1								28	
	ソルフェージュⅡ		1								
	ソルフェージュⅢ			1							
	ソルフェージュⅣ				1						
	ハーモニーⅠ	1									
	ハーモニーⅡ		1								
	ハーモニーⅢ			1							
	ハーモニーⅣ				1						
	基礎ゼミⅠ	1									
	基礎ゼミⅡ					1					
	音楽概論 A	1									
	音楽概論 B		1								
	西洋音楽史概説 A	1									
	西洋音楽史概説 B			1							
	音楽文化論 A			1							
	音楽文化論 B				1						
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅰ	2									
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅱ		2								
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅲ			2							
	外国語コミュニケーション(英語／ドイツ語／イタリア語／フランス語)Ⅳ				2						
	教育メディア論	2									
	A I ・ データサイエンス	2									
教養科目										20	
卒業要件単位数										124	

※1 共通選択科目、コース科目を含む選択科目の合計で18単位。

○国立音楽大学二委員会規程

平成19年4月1日

制定

(目的)

第1条 教授会規程第5条に基づき二委員会（教務委員会、学生生活委員会）の組織と運営についてこの規程を定める。

(構成)

第2条 各委員会は教授会において選出された委員及び担当事務局の管理職をもって構成する。

2 各委員会は、必要に応じて特別委員を加えることができる。

3 特別委員は、学長及び当該委員会委員長が協議の上、当該委員会及び教授会の議を経て決定する。

第3条 委員の任期は、改選時の翌年4月1日から2年間とする。ただし、重任をさまたげない。なお、委員の任期中に退任した場合には、教授会で委員の補充について審議する。必要と認められた場合は、当該委員の選出母体から候補者を選出し教授会の議を経て学長が決定する。補充された委員の任期は、退任委員の残余期間とする。

(所管事項)

第4条 各委員会は、次の事項に関する教授会への議案提出と決定事項の管理・運営を行う。

(1) 教務委員会の審議事項

ア 学科課程に関する事項

イ 授業運営に関する事項

ウ 教育内容・方法の改善及びその研究・研修(FD)に関する事項

エ 試験に関する事項

オ 学業成績に関する事項

カ 学籍（休学・退学・除籍・復学・転科等）に関する事項

キ 聴講生、委託生、科目履修生、特別聴講学生（単位互換履修生）に関する事項

ク 賞に関する事項

ケ 障害のある学生の修学支援に関する事項

コ その他必要な事項

(2) 学生生活委員会の審議事項

ア 学生の課外活動及び学生生活に関する事項

- イ 学生生活に関わる施設・設備運営に関する事項
- ウ 学生の健康維持に関する事項
- エ 学生相談に関する事項
- オ 奨学に関する事項
- カ 学生の就職（アルバイトを含む）及び進路に関する事項
- キ 賞罰に関する事項
- ク その他必要な事項

（委員の選出）

第5条 委員の改選は隔年ごとの10月中に行う。

第6条 委員の定数及び選出母体は改選時に教授会の議を経て、学長が定める。

第7条 委員は教授会で定める選出母体から選出され、教授会の議を経て、学長が決定する。

第8条 理事長及び学長は、被選挙人になることができない。また、同一人が複数の選出母体からの被選挙人になることができない。

第9条 委員は、二委員会及び演奏芸術センター会議の中で兼任することができない。

（委員長）

第10条 各委員会に正・副委員長各1名を置く。

第11条 委員長は、委員会を統率し、教授会に所管事項の議案提出及び報告をする。

第12条 委員長は当該委員会で選挙し、副委員長は委員長が指名する。

第13条 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故あるときはその職務を代行する。

第14条 委員長の任期は、委員としての任期に準じ、その重任は4期までとする。

（委員会）

第15条 委員会は、委員長が招集する。

第16条 委員会は3分の2以上の出席をもって成立し、出席委員の単純多数決をもって議決する。

第17条 定例委員会の日程は毎年度初めの委員会にて決定する。

第18条 臨時委員会は委員長が必要と認めたとき、または委員の3分の1以上から理由を明示した文書を付して要請があった場合に開催される。

（分科会・小委員会）

第19条 委員会の下に、分科会または特別小委員会を設けることができる。

（合同会議・特別委員会）

第20条 二委員会及び演奏芸術センター会議が合同して会議を開くことができる。

第21条 各委員会の代表者若干名をもって特別委員会を設けることができる。

(二委員長会議)

第22条 各委員会間の連絡調整をはかるため、二委員長会議を置く。

- 2 会議は学長、副学長及び二委員会正副委員長で構成し、学長が招集する。
- 3 会議に演奏芸術センター長を加えることができる。

(運営内規)

第23条 所管事項の運用を円滑に行うために、各委員会の運営内規を定めることができる。

(改廃)

第24条 本規程の改廃は、二委員会の合同で審議し、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

- 1 本規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 本規程の施行にともない、「三委員会規程」を廃止する。

(中途省略)

附 則

本規程は、2020年4月1日から施行する。

○国立音楽大学大学教育研究協議会規程

平成29年2月24日

制定

第1条 本学の教育研究に関する事項を審議するために、大学教育研究協議会（以下「協議会」という。）を置く。

第2条 協議会は、次の事項を審議する。

- (1) 教授会の審議事項に関わること
- (2) 大学院委員会の審議事項に関わること
- (3) 内部質保証に関わること
- (4) 教育課程や授業運営、学位の授与等に関わる基本的事項
- (5) 学生生活上の就学支援等に関わる基本的事項
- (6) 大学の演奏活動や教員の教育研究活動に関わる基本的事項
- (7) 入学試験に関わる基本的事項
- (8) 学生募集、受験生対策に関する基本的事項
- (9) 運営会代表者会議に関する事項
- (10) その他本学の教育研究に関わる重要事項

第3条 協議会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学科長
- (4) 大学院副委員長
- (5) 学長の指名する事務職員若干名

第4条 協議会は、学長が招集し、その議長となる。

第5条 協議会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者を出席させ、その意見を聴くことができる。

第6条 協議会の下に、学部の教育研究に関する連絡・調整・協議機関として、運営会代表者会議を置く。

2 運営会代表者会議は、学長、副学長、学科長、各運営会代表から組織され、学長がこれを主宰する。

第7条 協議会の事務は、教学企画室が行う。

第8条 この規程の改廃は、学長が教授会・大学院委員会に諮り行うものとする。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2022年10月24日から改正施行する。

附 則

この規程は、第7条「大学改革推進室」の名称を「教学企画室」に変更し、2024年3月6日に改正し、2024年4月1日から施行する。

大学等名	国立音楽大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和7年度

国立音楽大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 取組概要

修了要件

- ・必修の基礎科目「A I・データサイエンス」（2単位）を修得すること

学修成果

- ・AIと呼ばれる分野とデータサイエンスの基礎を理解する
- ・現代社会において必須と言えるAIとデータサイエンスの基礎を理解し、現代社会における使い方や応用例を正しく理解できるようになる

特徴

- ・学部1年生が全員履修する必修科目（卒業要件に含まれる）
- ・モデルカリキュラムに準じた内容を1科目で学ぶことができる
- ・eラーニングを使用した授業
 - ➡他科目と時間割が重複することがなく、いつでも・どこでも学生自身のペースで学修が可能
- ・GoogleClassroomや教員のオフィスアワー等を活用し、履修のサポートを行う

プログラムを改善・進化させるための体制

- ・教務委員会、大学教育研究協議会



国立音楽大学
KUNITACHI COLLEGE OF MUSIC